

スーパーエコスクール実証事業：エネルギー消費ゼロへ 生駒・鹿ノ台中で開始

毎日新聞 2012年11月01日 地方版

年間エネルギー消費実質ゼロを目指す「スーパーエコスクール実証事業」が生駒市立鹿ノ台中学校で始まる。文部科学省の今年度の新規事業で、全国で選ばれた3校のうちの1校で唯一の中学校。生徒や地域住民も参加するワークショップでアイデアを出し合った上で、14年度までに太陽光発電設備を含む施設整備を行う。市教委は「全国のモデルになるような取り組みにしたい」と意気込む。【熊谷仁志】

省エネの徹底に加え、再生可能エネルギーの導入（創エネ）、エネルギーを蓄える設備の導入（蓄エネ）で、学校で使うエネルギーの全てを賄うことを目指すとともに、子どもへの環境教育にも活用する目的の事業。学校は重要な防災拠点で、外部からのエネルギー供給が途絶えた緊急時に力を発揮することも期待されている。

国は今年度、生駒市、京都市、福島県矢吹町の3自治体を選定。生駒市は太陽光発電装置設置を想定し、校舎の屋上の状況や地域性などから、鹿ノ台中を実施校に選んだ。

市教委によると、ワークショップは、学識経験者らに加え、地元自治会、保護者、生徒の代表を含む計十数人で構成し、年内には初会合を開く。今年度中に3回程度開くワークショップで、発電設備、蓄電装置など学校施設のエコ改修の具体的な計画を決める。13年度に設計、14年度に工事を行う計画だ。

市教委教育総務課は「住民や生徒の声をしっかり反映させたい。環境教育にも力を入れたい」と話している。